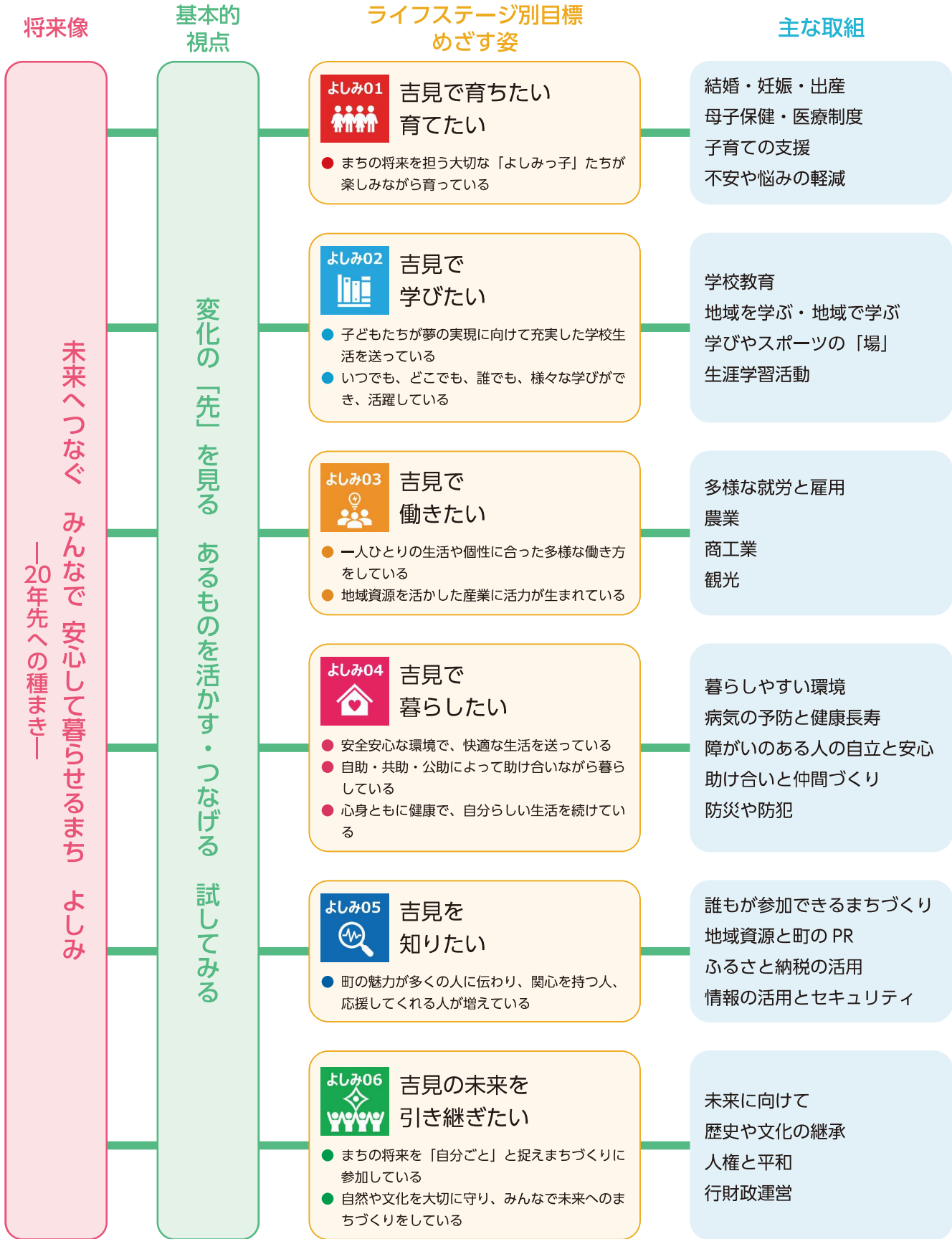


第3部

後期基本計画

令和8年度(2026)～令和12年度(2030)

第1章 後期基本計画体系一覧



第2章

ライフステージ別目標と分野別計画の対応一覧

No.	分野別計画	ライフステージ別目標					
		1 よしみ01 	2 よしみ02 	3 よしみ03 	4 よしみ04 	5 よしみ05 	6 よしみ06 
1	吉見町人権施策基本方針	●	●	●	●		●
2	吉見町地域防災計画				●	●	●
3	吉見町男女共同参画プラン	●	●	●	●		●
4	吉見町町民行動基本計画		●	●	●		
5	吉見町公共施設等総合管理計画	●	●		●		●
6	吉見町国民健康保険特定健康審査等実施計画				●		
7	吉見町国民健康保険保健事業実施計画				●		
8	吉見町障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画	●	●	●	●		
9	吉見町地域福祉計画・地域福祉活動計画	●	●	●	●		●
10	よしみ健康いきいきプラン	●			●		
11	吉見町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画				●		
12	吉見町子ども・子育て支援事業計画	●	●		●		●
13	吉見農業振興地域整備計画書			●	●		●
14	吉見町環境基本計画				●	●	●
15	吉見町空家等対策計画				●		●
16	吉見町水道事業ビジョン				●		●
17	吉見町生活排水処理基本計画				●		●
18	吉見町都市計画マスタープラン	●	●	●	●		●

第3章

ライフステージ別目標ごとの取組

ライフステージ別目標 01 / 吉見で育ちたい育てたい

よしみ01



「育ちたい・育てたい」と思えるまち

ワークショップでは「子どもがいると、地域が明るくなる」という意見がありました。貴重でかけがえのない地域子どもたち、孫たちは町の希望です。

結婚や出産を希望する人への支援、子どもたちが「吉見に生まれ育って良かった」と思えること、子どもや孫を育てる人が「吉見で育てて良かった」と思えることは、まちの未来、みんなの安心に深く関わっています。そして、「ここで育って良かった」、「この場所で育ちたい」と思えることが、「吉見で育てたい」につながっていきます。こうした背景から、「育ちたい・育てたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

目標の達成状況を見るための評価指標 (KPI[※])

	基準値		目標値 (令和12年度)
SAITAMA 出会いサポートセンターへの町内登録会員数	61人	▶	85人
早期不妊検査・不育症検査費助成の申請件数	3件	▶	10件
12歳児の永久歯のむし歯本数	0.8本/人	▶	0.26本/人
保育所等の待機児童数	0人	▶	0人
子育て支援センター年間利用者数	3,698人	▶	6,000人

※ KPI : Key Performance Indicator (重要業績評価指標)

めざす姿

- ▶ まちの将来を担う大切な「よしみっ子」たちが楽しみながら育っている

主な取組

結婚・妊娠・出産

- 結婚相談支援
- 新婚世帯向け支援
- 妊娠期から切れ目のない支援

母子保健・医療制度

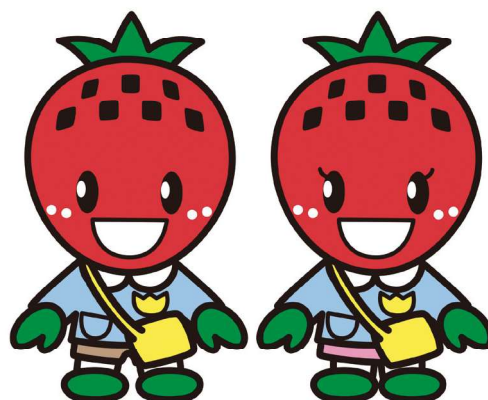
- 予防接種の普及・啓発
- こども医療費の助成
- 未熟児養育医療の給付
- 健康相談の実施

子育ての支援

- 子育てに関する情報提供や相談体制の強化
- ニーズに対応した保育体制の整備
- 乳幼児の体験や学習の場づくり

不安や悩みの軽減

- 子育てが困難な世帯への支援
- 子育て中の親同士の交流の場づくり
- 子どもが安心して過ごすことができる環境づくり



よしみ02



「学びたい」と思えるまち

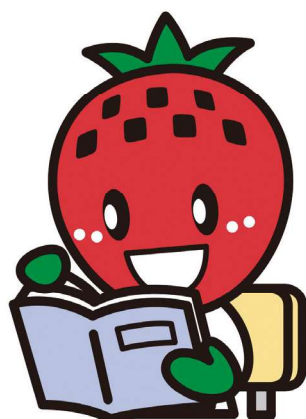
子どもたちがそれぞれの夢の実現に向けて、安心して学び、充実した学校生活を送ることができる環境の整備は、未来につながるまちづくりそのものです。少子化が進む中、児童生徒一人ひとりの個性を大切にするために、学校現場の指導力向上に加えて、保護者・地域と学校の連携など、多面的な取組が求められます。

また、仕事のために学ぶ、趣味やスポーツに打ち込む、誰かに教える・学び合うといった多様な学びの場、生涯学習の環境は、一人ひとりが生きがいを持って、充実した心豊かな生活を送るためにも不可欠です。

こうした背景から、子どもから高齢者まで「学びたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

目標の達成状況を見るための評価指標（KPI）

	基準値	目標値 (令和12年度)
学校評価アンケートにおいて、満足・おおむね満足と回答している保護者の割合	80%	90%
中学1、2年生の公費負担による英検の合格率	70%	85%
吉見町民体育館年間利用者数	28,332人	45,000人
図書館等複合施設年間来館者数	48,858人	50,000人



めざす姿

- ▶ 子どもたちが夢の実現に向けて充実した学校生活を送っている
- ▶ いつでも、どこでも、誰でも、様々な学びができ、活躍している

主な取組

学校教育

- 学力の向上
- 体力の向上
- 時代の変化に対応する教育
- 一人ひとりの個性に合わせた指導・教育・支援

地域を学ぶ・地域で学ぶ

- 社会科見学や社会体験活動の実施
- 地元の企業・事業者・農家・職能者等との連携
- 地元産を使った食育の推進

学びやスポーツの「場」

- 学校施設のあり方の検討
- 教育関連施設の適正な管理
- 時代に即した学びやスポーツができる場の設置

生涯学習活動

- 生涯学習意欲の向上と学習機会の確保
- 誰もが参加できるスポーツ活動の推進
- 健康づくり・生きがいづくり
- スキルアップ（技術向上）・学び直しの機会を確保

よしみ03



「働きたい」と思えるまち

町の基幹産業である農業や、職人の技能など、多くの人が守りたいと思っている「仕事」があり、各種産業（農業、商業、工業、観光など）の振興が求められています。

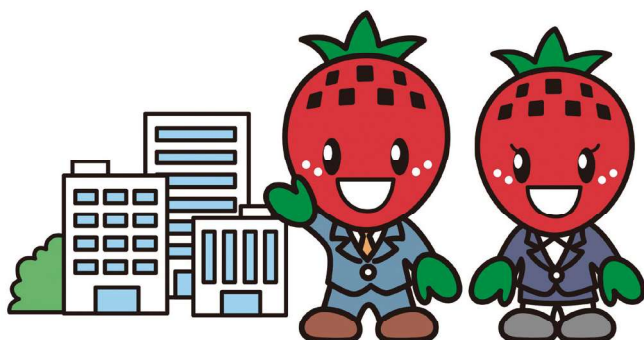
また、新産業や事業の創出、テレワークによる時間や場所にとらわれない働き方、ワークライフバランス、生きがいとしての仕事など、既存の形態にとらわれない多様な働く機会・場が求められるようになっていきます。

人口規模が縮小しても、町の活気や経済的活力を縮小させないためには、町内外で働く町民、町内で働く町外の人など、一人ひとりの活躍が大切です。

こうした背景から、「働きたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

目標の達成状況を見るための評価指標（KPI）

	基準値	目標値 (令和12年度)
週2回以上収入のある仕事をしている 65歳以上の町民	23.9%	▶ 25%
農用地の担い手への集積率	46.3%	▶ 49%
町内民営事業所数（経済センサス）	600事業所	▶ 636事業所
令和3年度以降の累計雇用創出数	195人	▶ 3,000人
観光入込客数	1,180,634人	▶ 1,384,000人



めざす姿

- ▶ 一人ひとりの生活や個性に合った多様な働き方をしている
- ▶ 地域資源を活かした産業に活力が生まれている

主な取組

多様な就労と雇用

- 企業の誘致
- 町内での創業の支援
- 転入希望者への包括的な相談の実施
- 現役世代のリスキリング（学び直し）支援

農業

- 多様な担い手の確保・育成
- 時代に即した農業経営の支援
- 商業・観光との連携

商工業

- 既存立地企業・中小企業の事業継続支援
- 農業・観光との連携
- 商業の拠点づくり

観光

- 観光協会の設立、（観光関連）事業者等との連携強化
- 観光農業の推進
- 既存の観光資源のブラッシュアップ（磨き上げ）
- 新たな観光資源の発掘・整備
- 道の駅の機能拡充

よしみ04



「暮らしたい」と思えるまち

快適な日々の暮らしは、生活基盤となるインフラ（道路、上下水道など）、周囲の環境、健康、生きがい、もしものときへの備えなど、様々な要因が重なり合って実現します。人口減少と少子化の進行が見込まれる中、若い世代が吉見町をふるさとと感じ、定住・移住したいと思えることは極めて重要です。また、誰でも、いくつになっても、いつまでも、住み慣れた地域で安心して暮らしていけることは、高齢化の進行や多様化する時代にとって、今後ますます重要になってきます。

子育て世帯、高齢者、一人暮らしの人、ずっと住んでいる人、新しく住む人など、様々な人たちが、吉見ならではの楽しさや幸せを感じながら暮らせるまちになっていくことが大切です。

こうした背景から、「暮らしたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

目標の達成状況を見るための評価指標（KPI）

	基準値	目標値 (令和12年度)
町内小売業の売場面積	7,824㎡	16,854㎡
デマンド型交通年間乗車人数	7,808人	12,000人
事務事業における温室効果ガス削減後の排出量	1,814kg-CO ₂	1,153kg-CO ₂
特定健診の受診率	43%	60%
65歳健康寿命・男性	17.59年	18.1年
65歳健康寿命・女性	20.36年	20.9年
障がい者生活サポート事業利用者率	21.3%	21.8%
地域や趣味などのグループ活動の企画・運営に参加してみたいと思う65歳以上の町民	34%	37%
防災メール登録件数	3,234件	4,000件
町内在住者の交通事故年間発生件数	0件	0件
町の奨励金等を活用した方に対するアンケートにおいて、『住み続けたい』と答えた割合	—	65%

めざす姿

- ▶ 安全安心な環境で、快適な生活を送っている
- ▶ 自助・共助・公助によって助け合いながら暮らしている
- ▶ 心身ともに健康で、自分らしい生活を続けている

主な取組

暮らしやすい環境

- 買い物環境の改善・支援
- 公共交通・移動支援
- 道路・上下水道環境の維持・整備
- 住環境の維持・整備
- 緑・田畑のある景観の保全
- ごみ処理・リサイクルの体制及び啓発の充実

病気の予防と健康長寿

- 健康づくりと健康相談の継続
- 各種検診・健診の充実
- 介護予防と介護・福祉サービスの充実
- 地域包括ケア体制の整備

障がいのある人の自立と安心

- 障がい福祉サービスの充実
- 地域で自立した生活を送るための支援と社会参加
- 障がいのある児童・生徒の療育・教育
- 難病患者の生活安定

助け合いと仲間づくり

- 地域での支え合いや、生活援助活動等のボランティア活動の支援
- 身近な集いの場づくり
- 地域での多様なコミュニティ活動への支援

防災や防犯

- 防災体制の強化
- 防犯体制の整備
- 防災・防犯意識の強化
- 交通安全対策の充実

よしみ05



「知りたい」と思えるまち

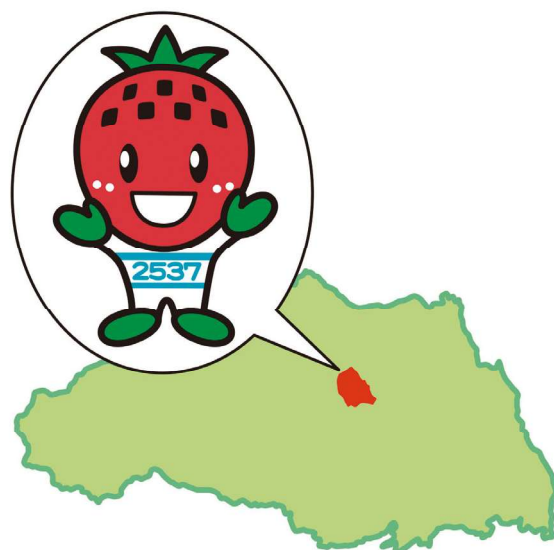
町のことを知り、興味を持つことは、まちづくりの第一歩です。新たなビジネスの誘致、観光の活性化、移住・定住の促進なども、まず吉見町を知ってもらうことが必要です。世界のどこにいても、吉見町のことを知りたいと思えばインターネットを使って調べることができるなど、様々なことがオンラインで可能になっています。一方、口コミや実体験など、非デジタルの情報を大切に感じる人もいます。

吉見町に興味や関心を持ち、吉見町のことを考え、吉見町を応援してくれる人を、町の内外に増やしていくことが大切です。

こうした背景から、「知りたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

目標の達成状況をみるための評価指標 (KPI)

	基準値	目標値 (令和12年度)
町ホームページ年間アクセス数	44 万件	50 万件
プレスリリース年間打ち出し件数	18 件	20 件
ふるさと納税年間寄附金額	1.8 億円	3 億円
町の情報発信に満足している町民	49.4%	60%
町と関わりのある団体数	129 件	140 件



めざす姿

- ▶ 町の魅力が多くの人に伝わり、関心を持つ人、応援してくれる人が増えている

主な取組

誰もが参加できるまちづくり

- 町政への町民の参加・参画の推進
- 協働のまちづくりの推進
- 広報・広聴の充実と、手法の多角化の検討

地域資源と町のPR

- 吉見町での暮らしや観光等の魅力の発信
- SNS・動画配信や撮影協力等の推進
- 吉見PR大使や多様な人材の活用

ふるさと納税の活用

- 寄附者が魅力を感じる使い道の拡充
- 吉見町ならではの返礼品の充実・開発
- 様々なふるさと納税の仕組み活用

情報の活用とセキュリティ

- 情報の受け手に合わせた多様な情報媒体の活用
- 正しい情報の発信・情報の整理
- 個人情報保護等の情報セキュリティ対策の充実

よしみ06



「未来を引き継ぎたい」と思えるまち

豊かな自然、のどかな田園風景、人と人のつながり、歴史や伝統、特産品のいちごなど、多くの人が「これからも守りたい・残したい」と思っているものがあります。それらを守り、残していくために、時代に合わせて何かを変えたり、新しい取組が必要になったりすることもあります。ワークショップでは「伝統は、未来に向けてつくっていくもの」という意見がありました。

町民、事業者、各種団体、行政など様々な主体が連携することにより、吉見町に住むみんなで自分たちのまちについて考え、子どもや孫たちが、安心して「引き継ぎたい」と思えるまちづくりに取り組むとともに、いつの日か、地域で活躍する人材になれるよう、育て、見守り、後押ししていくことが大切です。

次の世代が「未来を引き継ぎたい」と思えるまちの実現は、子どもや孫たちのためだけでなく、いま頑張っている大人たちの安心にもつながります。

こうした背景から、「未来を引き継ぎたい」と思えるまちになることを目標に掲げました。

目標の達成状況を見るための評価指標（KPI）

	基準値		目標値 (令和12年度)
ボランティア体験プログラム年間参加者数	239人	▶	250人
吉見百穴年間入場者数	57,286人	▶	70,000人
審議会などの女性委員割合	23.4%	▶	40.0%
マイナンバーカード保有率	76.3%	▶	80.0%

めざす姿

- ▶ まちの将来を「自分ごと」と捉えまちづくりに参加している
- ▶ 自然や文化を大切に守り、みんなで未来へのまちづくりをしている

主な取組

未来に向けて

- 世代や業種を超えた人の交流
- 教育機関や研究機関との協力連携

歴史や文化の継承

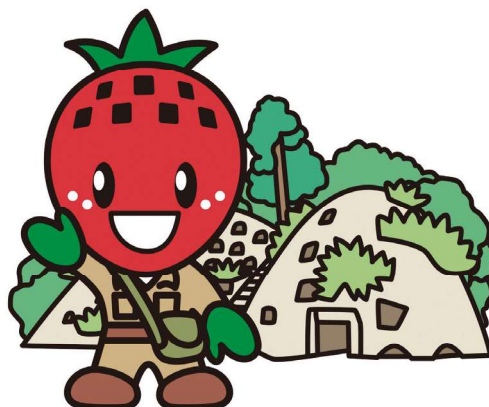
- 文化財の保護・継承
- 吉見百穴や松山城跡等の環境整備
- 様々な芸術・文化活動の充実
- 地域の伝統文化の維持・継承

人権と平和

- 基本的人権の尊重
- 男女共同参画社会の実現
- 平和意識の醸成
- 国際交流など異なる文化や地域への理解

行財政運営





- DXの推進による行政運営やサービスの質の向上
- 財政基盤の確立と維持
- 公共施設の総合的な維持管理の推進、施設のあり方の検討
- 広域行政・広域連携



第4章 KPIの一覧

後期基本計画のKPIは、吉見町まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIを兼ねています。

※ KPI : Key Performance Indicator (重要業績評価指標)

ライフステージ 別目標	No	指標	現状値	目標値 (令和12年度)	説明
吉見で 育ちたい 育てたい よしみ01 	1	SAITAMA 出会い サポートセンターへの 町内登録会員数	61人	85人	結婚に対する支援の充実や、結婚を希望する方が町内に一定数いることを示す
	2	早期不妊検査・不育症 検査費助成の申請件数	3件	10件	妊娠に対する支援の充実や、妊娠を希望する方が町内に一定数いることを示す
	3	12歳児の永久歯の むし歯本数	0.8本/人	0.26本/人	歯・口腔の健康に対する意識が向上していることを示す
	4	保育所等の待機児童数	0人	0人	保育所の受け入れ態勢が整っていることを示す
	5	子育て支援センター 年間利用者数	3,698人	6,000人	子どもや子育てをする人が利用できる施設等があることを示す
吉見で 学びたい よしみ02 	6	学校評価アンケートに おいて、満足・おおむ ね満足と回答している 保護者の割合	80%	90%	学校の教育環境や内容などについて、保護者から一定の評価を得ていることを示す
	7	中学1、2年生の公費 負担による英検の合格 率	70%	85%	中学生の英語力と英語学習に対する意欲を示す
	8	吉見町民体育館年間 利用者数	28,332人	45,000人	スポーツの環境とスポーツに取り組む意欲があることを示す
	9	図書館等複合施設年間 来館者数	48,858人	50,000人	様々な学びや趣味のための身近な環境を町民が利用していることを示す
吉見で 働きたい よしみ03 	10	週2回以上収入の ある仕事をしている 65歳以上の町民	23.9%	25%	高齢者の働く意欲や、高齢者が就労する場、機会などがあることを示す
	11	農用地の担い手への 集積率	46.3%	49%	農地の担い手への集積化が進んでいることを示す
	12	町内民営事業所数 (経済センサス)	600事業所	636事業所	事業所の発展、消費意欲など町内小売業の活力を示す
	13	令和3年度以降の 累計雇用創出数	195人	3,000人	企業誘致、消費活動の活性化などにより、雇用の場や機会が生み出されていることを示す
	14	観光入込客数	1,180,634人	1,384,000人	観光資源の魅力や情報発信力、受け入れ環境の充実度を示す
吉見で 暮らしたい よしみ04 	15	町内小売業の売場面積	7,824m ²	16,854m ²	身近な場所で買い物ができる環境が整っていることを示す
	16	デマンド型交通年間 乗車人数	7,808人	12,000人	マイカー以外の移動手段が、多くの人に利用されていることを示す
	17	事務事業における温室 効果ガス削減後の排出 量	1,814kg-CO ₂	1,153kg-CO ₂	省エネ、省資源、リサイクルなど環境配慮への取組が推進されていることを示す
	18	特定健診の受診率	43%	60%	定期的に健診を受けて、健康に対する意識が向上していることを示す

ライフステージ別目標	No	指標	現状値	目標値 (令和12年度)	説明
吉見で暮らしたい よしみ04 	19	65歳健康寿命・男性	17.59年	18.1年	65歳以降、健康上の問題により、日常生活を制限されることなく送っていることを示す
	20	65歳健康寿命・女性	20.36年	20.9年	
	21	障がい者生活サポート事業利用者率	21.3%	21.8%	障がいのある人が安心して社会生活を送ることができるサービス・支援があることを示す
	22	地域や趣味等のグループ活動の企画・運営に参加してみたいと思う65歳以上の町民	34%	37%	高齢者が地域で活躍し、生き生きと暮らしている状態を示す
	23	防災メール登録件数	3,234件	4,000件	町民の防災意識や情報収集力が高まっていることを示す
	24	町内在住者の交通事故年間発生件数	0件	0件	交通安全に対する意識の向上や施設の整備状況を示す
	25	町の奨励金等を活用した方に対するアンケートにおいて、『住み続けたい』と答えた割合	—	65%	町に住み続けたいと感じる人の多さを示す
吉見を知りたい よしみ05 	26	町ホームページ年間アクセス数	44万件	50万件	情報が広く発信され、多くの人に届いていることを示す
	27	プレスリリース年間打ち出し件数	18件	20件	マスメディアに対して、積極的に町の情報が発信されていることを示す
	28	ふるさと納税年間寄附金額	1.8億円	3億円	町内に在住していない方が、吉見町を応援してくれていることを示す
	29	町の情報発信に満足している町民	49.4%	60%	町外に向けた町のPRに対する総合的な評価を示す
	30	町と関わりのある団体数	129件	140件	多様な団体との連携や協働の広がりを示す
吉見の未来を引き継ぎたい よしみ06 	31	ボランティア体験プログラム年間参加者数	239人	250人	ボランティア意識の向上と機会が充実していくことを示す
	32	吉見百穴年間入場者数	57,286人	70,000人	町の歴史や文化に関心を持っている人が、町内外にいることを示す
	33	審議会等の女性委員割合	23.4%	40%	政策等の決定過程に女性の視点が入り入れられていることを示す
	34	マイナンバーカード保有率	76.3%	80%	様々な手続きに関するオンライン化、デジタル化の基盤整備が進んでいることを示す